民生産業常任委員会所管事務調査報告書

◎ **調 査 期 間**　　令和５年３月２１日～令和６年３月２１日

◎ **委員会構成**

・令和５年３月２１日～令和５年５月１４日

委 員 長	都丸　裕史	副委員長	堀越　幸広
委　　員	黒沢佳代子	委　　員	澁　木　茂
委　　員	佐藤　久芳	委　　員	塚田　義一
委　　員	須田　敏彦		

・令和５年５月１５日～令和６年２月１９日

委 員 長	塚田　義一	副委員長	堀越　幸広
委　　員	中尾　大助	委　　員	佐藤　久芳
委　　員	都丸　裕史	委　　員	須田　敏彦
委　　員	青木　　満		

※令和５年５月１５日、第２回臨時会において選任。

・令和６年２月２０日～令和６年３月２１日

委 員 長	塚田　義一	副委員長	堀越　幸広
委　　員	佐藤　久芳	委　　員	都丸　裕史
委　　員	須田　敏彦	委　　員	青木　　満

※令和６年２月１９日付、中尾大助議員の辞職による。

◎ 所管事務調査事項

項　　目	調　　査　　事　　項
１.社会福祉の充実について	・フードバンクの運営状況について（現地調査）
２.福祉施設の充実について	・障害者就労施設受注販路拡大助成事業の周知状況について ・大泉町地域活動支援センターの現状について（現地調査）
３.生活環境の充実について	・外来生物による町内の被害状況について（現地調査）　【クビアカツヤカミキリ等】
４.産業・観光の振興について	・企業を支援する補助金を活用した町内企業の現状について（現地調査）
５．道路・河川等の整備について	・七ヶ村用水路工事の進捗状況について（現地調査） ・休泊川拡幅拡張工事の進捗状況について（現地調査）
６．都市基盤の整備について	・新庁舎を中心とした本町のまちづくりについて　(都市計画マスタープラン) ・大泉町公園墓地合葬墓の進捗状況について（現地調査）

※詳細は報告書参照

◎　研修視察

・福島県伊達市　令和５年１０月１２日（木）

【健幸都市推進の取り組みについて】

・福島県南相馬市　令和５年１０月１３日（金）

【福島ロボットテストフィールド】

※福島イノベーション・コースト構想における位置づけについて等

◎　その他

〇予算調査　　令和６年３月・・・３日間（令和６年度）

〇決算調査　　令和５年９月・・・３日間（令和４年度）

〇常任委員会予算要望提出　令和５年１０月２７日

〇請願・陳情審査

・請願第４号　「物価上昇に見合う年金の改善を求める意見書」を国に送付することを求める請願

委員会付託　令和５年第６回定例会（令和５年１２月１２日）※継続審査中

◎　参考

委員会開催日

令和５年

４月１２日	５月　９日	５月１５日	６月　７日
６月１５日	７月　５日	７月１３日	８月　２日
８月３０日	９月１４日	９月１５日	９月１９日
１０月　４日	１１月　８日	１２月　６日	

令和６年

１月１１日	２月　７日	２月２７日	３月１４日
３月１５日	３月１８日		

計　２１　回

〇　付属書類

年間予定表、請願結果報告書、各調査事項報告書

令和5年度民生産業常任委員会年間予定詳細表

5月	
6月	・定例会
7月	〇社会福祉の充実について ・フードバンクの運営状況について　(現地調査)
8月	〇産業・観光の振興について ・企業を支援する補助金を活用した町内企業の現状について(現地調査)
9月	・定例会（決算調査）
１０月	◎研修視察
１１月	〇都市基盤の整備について ・大泉町公園墓地合葬墓の進捗状況について(現地調査) 〇生活環境の充実について ・外来生物による町内の被害状況について(クビアカツヤカミキリ等)
１２月	・定例会
1月	〇福祉施設の充実について ・障害者就労施設受注販路拡大助成事業の周知状況について ・大泉町地域活動支援センターの現状について(現地調査)
2月	〇道路・河川等の整備について ・七ヶ村用水路工事の進捗状況について(現地調査) ・休泊川の改修状況について(現地調査)
3月	・定例会（予算調査）
4月	〇健康づくりの推進と医療体制の充実について ・地域包括ケアシステム及び地域包括支援センターの医療、関係機関との連携について ・国民健康保険の運営に係る県との連携状況について

令和５年１２月１４日

大泉町議会
議長　　渡　邉　　明　様

民生産業常任委員会
委員長　塚　田　義　一

閉会中の継続審査申出書

本委員会は、審査中の事件について、下記により閉会中もなお継続審査を要するものと決定したので、大泉町議会会議規則（昭和４９年大泉町議会規則第１号）第７４条の規定により申し出ます。

記

番　号	件　　名	理　　由
請願第４号	「物価上昇に見合う年金の改善を求める意見書」を国に送付することを求める請願	引き続き調査研究を要する。

令和５年７月度　民生産業常任委員会所管事務調査

作成者　堀越　幸広

１．実 施 日　　令和５年７月５日（水）

２．実施場所　　千代田町　町民体育館事務室内

３．出 席 者　　委 員 長　　塚田　義一
副委員長　　堀越　幸広
委　　員　　青木　　満
委　　員　　須田　敏彦
委　　員　　都丸　裕史
委　　員　　佐藤　久芳
委　　員　　中尾　大助

４．説 明 者　　①フードバンクおおいずみ　ちよだ責任者　　中谷　豊
②健康福祉部長
福祉課長
福祉課社会福祉係長

５．所管事務調査事項 ： 福祉の充実について

６．調査内容 ： フードバンクの運営状況について

令和５年８月度　民生産業委員会所管事務調査

作成者　　堀越　幸広

１．実 施 日　　令和５年８月２日（水）

２．実施場所　　ハナマルキ株式会社大利根工場

３．出 席 者　　委 員 長　　塚田　義一
副委員長　　堀越　幸広
委　　員　　青木　　満
須田　敏彦
都丸　裕史
佐藤　久芳
中尾　大助

４．説 明 者　（１）ハナマルキ株式会社大利根工場
取締役　製造本部長　茂木　展義
大利根工場長　　高﨑　健一
専任係長　　矢口　仁美
（２）住民経済部　部長
経済振興課　課長
企業誘致係　係長

５．所管事務調査事項　　産業・観光の振興について

６．調査内容　　企業を支援する補助金を活用した町内企業の現状について

令和５年１１月度　民生産業常任委員会所管事務調査

作成者　　堀越　幸広

１．実 施 日　　令和５年１１月８日（水）

２．実施場所　　大泉町公園墓地

３．出 席 者　　委 員 長　　塚田　義一
副委員長　　堀越　幸広
委　　員　　青木　　満
須田　敏彦
都丸　裕史
佐藤　久芳
中尾　大助

４．説 明 者　　都市建設部　部長
環境整備課　課長
環境整備課　係長

５．調査事項　　大泉町公園墓地合葬墓の進捗状況について（現地調査）

１．実 施 日　　令和５年１１月８日（水）

２．実施場所　　城之内公園

３．出 席 者　　委 員 長　　塚田　義一
副委員長　　堀越　幸広
委　　員　　青木　　満
須田　敏彦
都丸　裕史
佐藤　久芳
中尾　大助

４．説 明 者　　都 市 建 設 部　部長
公園下水道課　課長
公園下水道課　係長

５．調査事項　　外来生物による町内の被害状況について（クビアカツヤカミキリ等）（現地調査）

令和６年１月度　民生産業常任委員会所管事務調査

作成者　　堀越　幸広

１．実 施 日　　令和６年１月１０日（水）

２．実施場所　　大泉町地域活動支援センター

３．出 席 者　　委 員 長　　塚田　義一
副委員長　　堀越　幸広
委　　員　　中尾　大助
佐藤　久芳
都丸　裕史
須田　敏彦
青木　　満

４．説 明 者　　大泉町社会福祉協議会事務局長
大泉町地域活動支援センター施設長
健康福祉部　部長
福祉課　課長
福祉課　障害福祉係　係長

５．調査事項　　大泉町地域活動支援センターの現状について（現地調査）

令和６年２月度　民生産業常任委員会所管事務調査

作成者　　堀越　幸広

１．実 施 日　　令和６年２月７日（水）

２．実施場所　　七ヶ村用水路寄木戸地内結婚式場北側

３．出 席 者　　委 員 長　　塚田　義一
副委員長　　堀越　幸広
委　　員　　中尾　大助
佐藤　久芳
都丸　裕史
須田　敏彦
青木　　満

４．説 明 者　　住民経済部　部長
農業振興課　課長
農業振興課　農業振興係　係長

５．調査事項　　七ヶ村用水路工事の進捗状況について（現地調査）

１．実 施 日　　令和６年２月７日（水）

２．実施場所　　休泊川令和橋

３．出 席 者　　委 員 長　　塚田　義一
副委員長　　堀越　幸広
委　　員　　中尾　大助
佐藤　久芳
都丸　裕史
須田　敏彦
青木　　満

４．説 明 者　　都市建設部　部長
土木管理課　課長
土木管理課　道路整備係　係長

５．調査事項　　休泊川河川改修工事の概要について（現地調査）

民生産業常任委員会研修視察報告書

１．実 施 日　　令和５年１０月１２日(木)～１０月１３日(金)

２．参 加 者　　委 員 長　　塚田　義一
　　副委員長　　堀越　幸広
　　委　　員　　青木　　満
　　委　　員　　須田　敏彦
　　委　　員　　都丸　裕史
　　委　　員　　佐藤　久芳
　　委　　員　　中尾　大助
　　事 務 局　　塚本　悦子

３．視 察 地　　①福島県伊達市
　　②福島県南相馬市

４．交通機関　　貸切バス

５．視察結果　　別紙のとおり

◎視 察 地：福島県伊達市
◎視察内容：健幸都市推進の取組について

【市の概要】

面　　積：２６５．１㎢
人　　口：５７，０２０人 （令和５年８月末現在）
人 口 密 度：２１５．０８人／㎢

伊達市は福島県の北部に位置し、県都福島市の北東に隣接しています。東に阿武隈山系の霊山、西には吾妻連峰、北方に宮城県境の山々が遠望できる福島盆地にあります。市役所本庁舎のある保原は海抜約５０メートルに位置し、市の南部及び東部には南北５００メートルから８００メートル程の阿武隈高地が連なっています。

伊達市の交通体系は市の西部を国道４号とＪＲ東北本線が南北に走っており、また、市の南部を国道１１５号が東西方向に、市の中心部を国道３４９号、国道３９９号が走っています。

また、伊達市の土地利用は、全体面積２６５．１平方キロメートルの内、森林が１０１．７８２平方キロメートルで３８．４パーセントを占め一番広く、次に農地の７０．６０７平方キロメートルで２６．６パーセントとなっており、伊達市全体の６５パーセントを森林と農地で占めています。

【調査事項】

・「健幸都市推進の取組について」

（１） 健幸ポイント事業について

（２） 元気づくりシステム事業について

①平成２３年の「健幸都市宣言」を行うきっかけについて

②「健幸都市宣言」以降も条例や計画を定め、様々な事業を行っておりますが、改善や好転された点(介護費用・医療費等)について

③現状の課題等について

【まとめ】

伊達市において「健幸なまちづくり」は、市民とともに地域コミュニティや事業者等、市民が健康でいることが本人や家族のみの幸せにとどまらず、社会全体への貢献であるという認識のもと健康づくりに取り組むものとし、お互いに心を通わせ絆を深めながら、協働して取り組んでいるとのことでした。

※福島ロボットテストフィールド（福島県南相馬市）

「福島イノベーション・コースト構想における位置づけについて」については、施設見学のみの実施。